

人の移動から スペインの近現代を再考する



日時：2018年11月3日(土・祝) 13:00～18:00

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館3階 D-309教室

(東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅 徒歩1分)

第1部 強制された移動

八嶋由香利 (慶應義塾大学)

「人の移動とスペイン植民地支配—カルリスタの強制移動・労働とハバナの近代化—」

砂山充子 (専修大学)

「スペイン内戦と人の移動—バスク・チルドレンをめぐって—」

第2部 経済的な要因での移動

山道佳子 (慶應義塾大学)

「18世紀後半から19世紀初めにかけてのスペインにおける若年人口の移動とギルド
—カタルーニャの絹産業を中心に—」

深澤晴奈 (東京大学)

「スペインにおける外国人労働者の流入と受け入れ社会

—2000年代におけるマドリード、カタルーニャ、アンダルシアの比較を通じて—」

第3部 人の移動とコミュニティ・ネットワーク

上野貴彦 (一橋大学大学院)

「バルセローナ都市圏における「共生」の構築—住民自治組織と移民団体に注目して—」

萩尾生 (東京外国語大学)

「在外バスク系同胞支援策における民族性、領域性、歴史性」

事前登録不要、資料代実費(500円)

主催：スペイン史学会

<http://sjhe.org/>

info@sjhe.org